



国有林野事業の**取組**

# 「中部の森林、

# 林業従事者写真コンテスト」の開催

中部森林管理局



## はじめに

普段は人目に触れない人里離れた現場で、安全第一に頑張っている林業従事者の姿や、季節や天候が日々変化する自然を相手にした山の中の現場作業を広く知っていただき、国民の皆様

に林業への関心と理解を一層深めていただくため、中部森林管理局では、昨年度、初の取組として、林業従事者写真コンテストを開催しました。

## コンテストの概要

応募作品のテーマは、「令和の林業に携わる姿と風景」です。管内の現場で働く林業従事者やその職場の方から令和以降に撮影された伐採、運材、造林、休息时间、収穫調査など、山で働くあらゆる場面を切り取った写真を募集したところ、約半年間の募集期間に129点の応募がありました。

### 管内概要

所在地	長野県長野市大字栗田715番地5
区域面積	3,360,336ha うち森林面積 2,433,761ha うち国有林面積 654,797ha
関係自治体	富山県、長野県、岐阜県、愛知県

中部森林管理局は、富山県、長野県、岐阜県、愛知県の4県内の国有林を管理経営しています。

管内の国有林は、日本アルプスに代表される山岳地帯を有することもあり、標高差が大きく、地形も複雑なことから自然的条件は変化に富みます。面積の約半数がナラ類、カンバ類、ブナ科などの広葉樹やモミ、ツガなどの針葉樹からなる天然林、約3割がカラマツ、ヒノキなどの人工林、残りの2割は高山帯の岩石地などで占められています。

江戸時代より名をはせた「木曾ヒノキ」を有する木曾地域をはじめとして、木と人との長い歴史があり、人工林においては間伐などの森林整備を積極的に行うとともに天然力を活用した針広混交林への誘導を行うなど、多様な森林づくりに取り組んでいます。





優秀賞「晩秋の境内にて、御神木の伐倒」



優秀賞「真剣勝負」



最優秀賞「ヒノキ100年、僕21年」



優秀賞「朝の準備」



優秀賞「造材日和」



優秀賞「さて、どうする…」

すい、「現場で働いている林業従事者の励みになる」、「若い人の雇用拡大に繋がるのでは」などのコメントをいただきました。

また、入賞作品の発表については、3月10日に発行した当局の広報誌「中部の森林」(No.228)にて行いました。注… 国有林野事業についてのアンケートへの協力や会議への出席などにより幅広いご意見等をいただいている一般の方々、公募により選定されます。

また、入賞作品の発表については、3月10日に発行した当局の広報誌「中部の森林」(No.228)にて行いました。注… 国有林野事業についてのアンケートへの協力や会議への出席などにより幅広いご意見等をいただいている一般の方々、公募により選定されます。

## 今後の取組

ご応募いただいた全ての作品は、当局のウェブサイトで紹介しており、各種イベントや就職説明会などで活用させていただきます。

せていただくとともに貴重な記録として後世に残すこととしています。また、広報誌「中部の森林」において、「フォトコン作品からもっと伝えたい林業の魅力！」を紹介していきます。

なお、当局のウェブサイトに、昔の林業などを写真で紹介するサイト「モノクロ森林紀行」もありますので、林業従事者写真コンテストの作品とともに楽しみください。

